

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく3

国立市立国立第七小学校

平成27年12月16日 NO.74 (274)

花ちゃん 「モンタ博士、生き物の歴史についてよくわかりました。」

オー君 「ぼくも勉強になりました。つまり、せぼねのある動物は、コイのような『魚類』か、アマガエルのような『両生類』か、トカゲのような『爬虫類』か、カラスのような『鳥類』か、サルのような『哺乳類』の仲間にわかれるということですね。」

花ちゃん 「せぼねのある動物は、必ずどれかのグループに入るわけですね。」

オー君 「それから、こんなこともいえるんじゃないかな。水の中に住むものは、『魚』で、空を飛ぶものは、『鳥』ということなんだ。」

花ちゃん 「そうね。そのとおりね。住んでいる所でわかるのはいい考えね。」

モンタ博士 「うーん。そうかな？本当にそれでいいのかな。よく考えてみよう。」

オー君 「え！住んでいる所で、『魚類』とか『鳥類』とかにわけちゃいけないの。」

モンタ博士 「例えば、クジラやイルカ、さらにアザラシは水の中にいるけど、『魚類』かな？」

花ちゃん 「あ！そうか。クジラやイルカは子どもを生んでから、オッパイをやって育てるんだわ。だから、『魚類』ではないかも？」

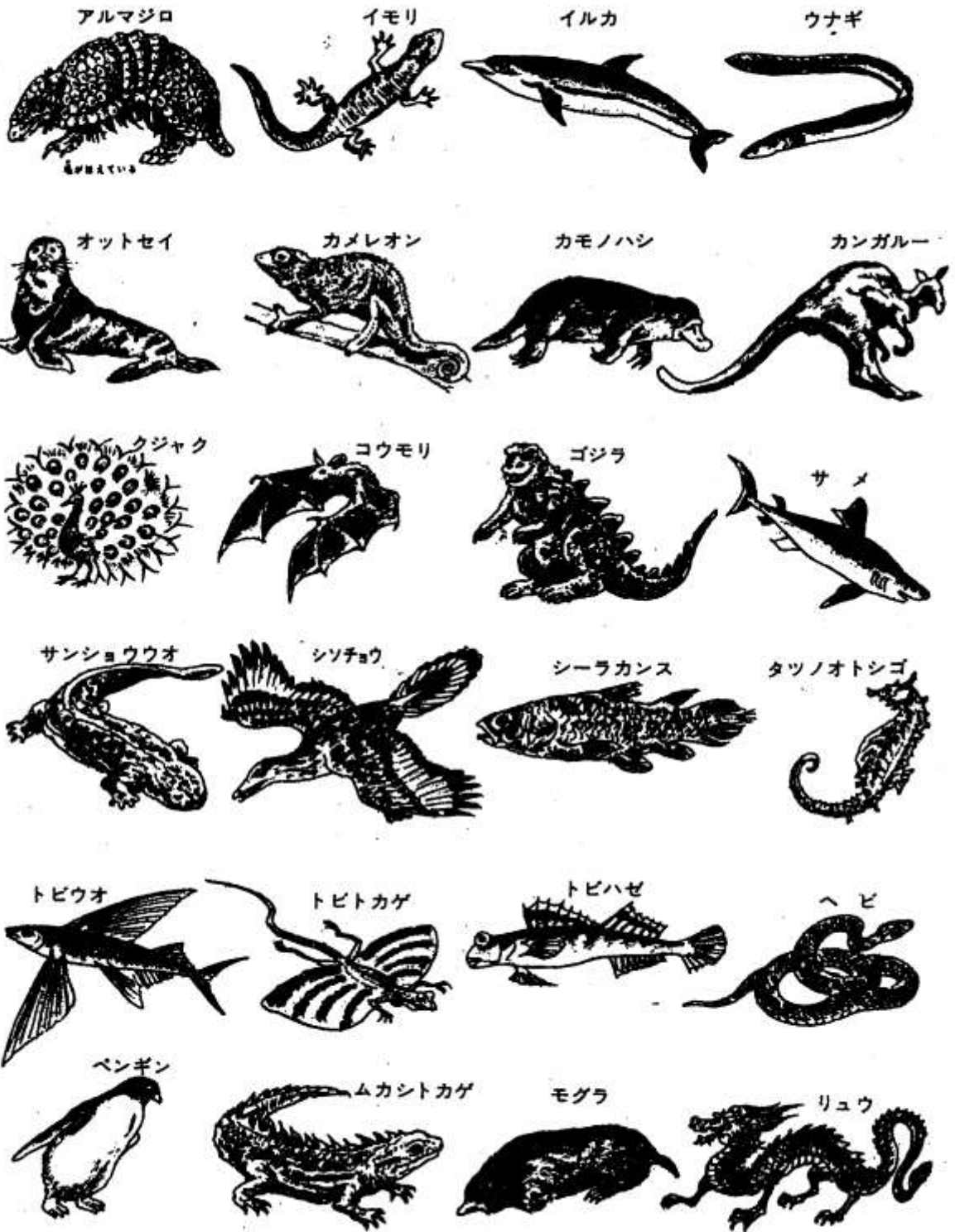
モンタ博士 「そのとおり。アザラシも『哺乳類』ということになるね。つまり、生物学者たちは、動物を住んでいる所でわかるだけでなく、呼吸のしかた、子どものふやし方、体に毛があるか、羽毛があるか、うろこがあるか、などをもとにしてわけているんだね。」

オー君 「なるほどね。呼吸のしかたか…。少しわかってきたぞ。えらがあれば魚なんだ。でも、肺があれば魚じゃないということだ。よし！わかってきたぞ。」

モンタ博士 「それでは、今から動物仲間分けクイズをだそう。右のいるいろいろな動物を『魚類』・『両生類』・『爬虫類』・『鳥類』・『哺乳類』にわけてみよう。

ひっかけのいじわる問題もあるからね。よく考えてみようね。答は、次号の『わくわくドキドキ国立てくてく3』にのせることにしよう。」

動物仲間分けクイズのはじまり！はじまり！



- 魚類 → ()
- 両生類 → ()
- 爬虫類 → ()
- 鳥類 → ()
- 哺乳類 → ()